

(清水昌人記)

特別講演会 (Albert Ando 教授)

2001年9月12日(水)午前10時から12時、国立社会保障・人口問題研究所第四会議室において、ペンシルバニア州立大学のアルバート・安藤教授による、"A Micro Simulation Model of Demographic Development and Households' Economic Behavior" と題された特別講演会が開かれ、研究所内外から多数の聴衆が参加した。安藤教授は、ライフサイクルを通じた消費・貯蓄行動に関する世界的な権威であり、近代的なマクロ経済理論を構築された経済学者の一人でもある。講演では、年齢や世帯人口など様々な属性をもつ家計の行動がどのようにマクロ経済と関連し、また人口学的変動が経済成長に及ぼす影響を、マイクロ・シミュレーション・モデルを用いて分析された結果が紹介された。本講演ではイタリアにおけるデータ・セットを用いられたが、今後、日本のデータ・セットを用いて研究を継続されるとのことであった。講演後、活発な質疑応答がなされ、マイクロ・シミュレーション・モデルの有用性などが話題になった。(加藤久和記)

第1回社会保障審議会人口部会

社会保障審議会の第1回人口部会は2001年8月7日(火)午後4時より5時30分まで日比谷松本楼で開催された。本部会の開催目的は、国立社会保障・人口問題研究所がおこなう2000年国勢調査人口を基準人口とした次期将来人口推計(2002年1月を目途に作業をおこなう予定)の考え方や推計前提について検証をおこなうこととされている。委員は次の17名である。

秋山弘子、阿藤 誠、市川 尚、岩淵勝好、小川直宏、駒村康平、小宮英美、高橋義哉、津谷典子、永瀬伸子、長谷川眞理子、廣松 毅、向山孝史、山崎泰彦、山路憲夫、山田昌弘、雪下國雄(五十音順)

部会長には廣松 毅氏(東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授)が選出され、阿藤 誠氏(国立社会保障・人口問題研究所所長)が部会長代理に指名された。報告聴取として、2000年国勢調査抽出速報集計結果(総務省統計局)、2000年人口動態統計月報年計(概数)の概況(厚生労働省大臣官房統計情報部)、2000年簡易生命表(厚生労働省大臣官房統計情報部)についての報告がおこなわれた後、将来人口推計の方法と前回(1997年)推計の基本的な考え方について国立社会保障・人口問題研究所の高橋重郷人口動向研究部長より説明がなされた。(佐藤龍三郎記)

日本統計学会第69回大会

日本統計学会(新会長:杉山高一・中央大学教授)の第69回大会(開催校組織委員長:新谷正彦・西南学院大学教授、プログラム編成委員長:岩崎学・成蹊大学教授)が2001年9月1日(土)~4日(火)の4日間にわたって福岡市の西南学院大学で開かれた。9月1日(土)には2つのチュートリアル・セミナーが開かれた。翌2日(日)から4日(火)の午後にかけて42のセッションで研究報告